

## 組合をあげて子どもたちの健康調査を持続可能に！

「生協 子ども健康調査支援基金」への協力をよろしくお願いいたします。

2012年から「生協子ども健康調査基金」を設立して組合員さんのお子さんを対象に甲状腺検診、尿検査、血液検査を行い原発事故の被ばく影響の健康調査を支援・実施してきました。その後2013年9月に地域のお母さん達が立ち上がって、「関東子ども健康調査支援基金」が設立され、甲状腺検診は関東の各地域（栃木、茨城、千葉、埼玉、神奈川）を巡回して実施していくようになりました。血液検査だけは生協独自で毎年検診を行っており、2012年に組合員さんから募った基金で費用の一部を補助（実費5,000円のところ、生協基金で3,000円補助し、自己負担2,000円）してきました。

検診開始から6年が経過し、「生協子ども健康調査基金」のお金も尽きてきました。毎年100名以上の組合員さんのお子さんが血液検査を実施しています。原発事故が起きて7年。当時赤ちゃんだった子どもたちが、7歳になり、小学1年生になっています。「あのころは赤ちゃんだったから」「幼児で暴れて・・・」などで受けられなかった子どもたちも、ようやく言い聞かせもできる年頃になり、「血液検査ができなかった」から「できる」に変わるタイミングだと思います。

本来であれば、ホットスポットとなった常総生協の組合員さんが住んでいるエリアは国が責任を持って子どもたちの健康を見守っていく必要がありますが、国は一向にやる気配がありません。でも、「国がやらないからできません。」「子どもたちの健康被害は知りません。」というわけにはいかないと思います。生協だからできる事。組合員が気持ちを寄せ合う事で実現可能になる事があります。

今後も継続的な血液検査は必要であり、子どもたちの健康を継続的に検査できるようにしたいと思えます。「生協子ども健康調査基金」へのご協力をお願い致します。

### （血液検査項目）

低線量放射線被ばくによる非がん健康影響として甲状腺機能、血液中の甲状腺ホルモンと免疫細胞（白血球）の状態を確かめる目的で実施しています

- ①一般血液検査
- ②血液像
- ③甲状腺機能

上記3つの検査を行います。

★2018年3月3日より毎週受け付けています。注文番号 **500252**「生協子ども健康調査基金」1口1,000円です。注文用紙に注文番号 **500252** を記載し「1」と記載していただければ1口、「2」と記載していただければ2口となり、複数の口数が記入できます。

組合をあげて子どもたちの健康を継続的に見守れる様に、ご協力宜しくお願い致します。